あいちの印刷

11
2020.11
No.588

竹島（蒲郡市竹島町）

もくじ

■ 巻頭言「学びの競争」 …… 3
■ 全印工連 オンラインフォーラム2020
滝澤会長のトップメッセージ …… 4
■ 下請け取引の普及と啓発
11月は「下請取引適正化推進月間」 …… 7
■ 緊急情報 PCB使用製品・廃棄物 …… 7
■ 愛印工組 オンラインセミナー開催 …… 8
■ 身近な催し物のお知らせ …… 9
■ お知らせ
Adobe Creative Cloud 特別ライセンスプログラム
募集中！ …… 10
講師養成オンライン講座 …… 10
日印産連‥知的財産権 Webサイトリニューアル …… 11
■ 11月は「過労死等防止啓発月間」
STOP !過労死 …… 12
■ 令和3年新春
印刷と関連業界 新年互礼会開催のご案内 …… 13
■ 愛知県知事表彰・組合功労者表彰 …… 14
■ 編集だより …… 14

人に 社会に 想いを カタチに

愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

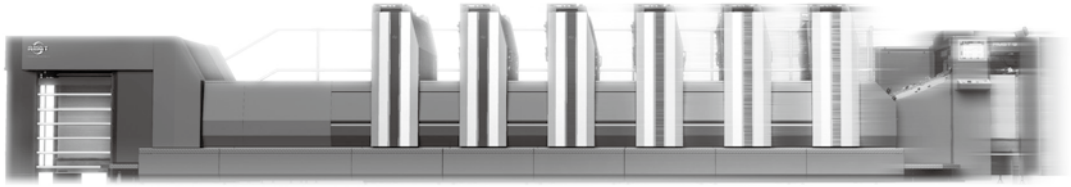
もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します―― 成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

「減らす」がつくる、クオリティ FUJIFILM SUPERIA

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル 052(201)8171 ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp

菊全印刷に新風を



RMGT970 誕生

新開発のRMGT 970 は、最大紙寸法 650×965 ㎜。菊全判用紙やK判用紙に、ジャストサイズです。

RMGT リョービMHI グラフィックテクノロジー株式会社
中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1 TEL 052-807-1671
https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/

優れた安全性と作業効率を実現して eRCシリーズ誕生。

eRC SERIES

ITOTEC
イトーテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo : eRC115DX

本社	愛知県犬山市舟田10-4	TEL 0568-67-5311	FAX 0568-68-0495	〒484-0912	福岡サービスセンター	福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6	TEL 092-651-6031	FAX 092-631-1746	〒812-0051
東京支店	東京都板橋区中台1-31-1	TEL 03-5920-2161	FAX 03-5920-2171	〒174-0064	札幌サービスセンター	札幌市中央区北一条西18-1	TEL 011-611-7221	FAX 011-611-7224	〒060-0001
大阪支店	東大阪市荒本新町3-29	TEL 06-6618-5335	FAX 06-6618-5337	〒577-0022	新潟サービスセンター	新潟市横越中央1-11-10	TEL 025-385-2059	FAX 025-385-3701	〒950-0208
四国営業所	愛媛県四国中央市新宮町上山3307	TEL 0896-72-2020	FAX 0896-72-2050	〒799-0302	仙台サービスセンター	仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7	TEL 022-258-1758	FAX 022-258-1793	〒983-0003

巻頭言

「学びの競争」

教育委員長　加藤　義章

本年度より教育委員長をさせて頂きます加藤です。どうぞ宜しくお願い致します。

この号が出る頃には今年も残り１カ月少々でしょうか。本来であれば教育委員会も主な事業である①印刷技能検定②ＤＴＰ検定③印刷営業講座と大半の事業が終了もしくは準備も完了し実施を待つのみというはずでした。しかし世間の例に漏れず新型コロナウイルス感染症の影響により、国の試験自体が実施されない、または見送りとなり全て中止となってしまいました。大変残念であり申し訳ない気がしております。

新型コロナウイルスの経済への猛威はまだまだ続きそうですが、先日「コロナの時代を“学び”で生き抜く」という特集をテレビで見かけました。内容は仕事が少なくなり残業もほとんどなくなり、それが自分を見つめ直すきっかけとなり、そしてそれを自分を高める時間に充てている人達が取り上げられていました。個人のお話でしたが正業の収入減を副業で補う、それを実現するために様々な方法を活用し学習に取り組んでいました。「自分に合う教材を探す」「仲間を集める」「習うより慣れろ」と学ぶコツも出ていました。詳しい内容は割愛しますが自分自身を顧みて反省せずにはいられませんでした。

新型コロナウイルスによって、多くの人に時間の余裕が出来たわけですが、その時間を、何もせず、ゆっくり過ごす（これも大切だと思いますが）、学びの時間にしっかり充てる。その差は大きく、コロナ後の世界ニューノーマルの新しい社会における地位が大きく変わる。それは個人の間の勉強の競争、企業の間の勉強の競争、国家の間の勉強の競争が起きている。これに今何をするかがその結果を決めていく。そして、新しいことを効率的に学ぶ力、戦略的学習力と言っていましたが、これからは、それが必要となってくると結ばれていました。

改めて教育、学び続けることの大切さを感じた次第です。現在、教育委員会では教育委員の協力のもと、４つ目の事業である印刷技術、従業員教育に関する情報の発信に関しまして、オンラインセミナーの開催という形で注力しております。皆様にはご活用頂き、少しでもお役に立てればうれしい限りです。

KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

Less human touch & Less human error

スキルレスオペレーションを実現する
プロダクション印刷システム

インテリジェントクオリティオプティマイザー[IQ-501]※1により、色管理・表裏見当調整を自動化。印刷中も高品質を保つリアルタイム監視・補正機能や自動プロファイル作成機能、さらにリアルタイム自動検品機能※2も備え、スキルレスかつ最小限の工数で高品質な印刷物を安定提供できます。

AccurioPress
C3080/C3080P/C3070

※1:オプション　※2:IQ-501の他に追加でオプションが必要です。
※写真はC3080にオプションを装着したものです。

リアルタイム自動検品機能搭載※2
高精度な検品を自動で行い、作業の省人化や品質トラブルの低減を実現します。

コニカミノルタ ジャパン株式会社　PPG営業統括部　西日本営業統括部 営業1部
〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F
TEL.052-229-4624　http://konicaminolta.jp/pr/odp

全印工連　オンラインフォーラム2020

全日本印刷工業組合連合会（滝澤光正会長）では、10月9日午後1時から全国47都道府県の印刷工業組合組合員4,300社に向けて「全印工連オンラインフォーラム2020」をWeb配信形式で開催した。席上、トップメッセージとして滝澤会長が印刷産業の構造改革の必要性を説いた。特に、全印工連が開発を進めるDX（デジタルトランスフォーメーション）システムにより、組合企業同士による生産協調を推進することで、印刷産業全体の生産性向上や付加価値の創出を図っていくことを全国の組合員に対して宣言した。

続いて配信されたスペシャルコンテンツでは、「なぜDX（デジタルトランスフォーメーション）が必要なのか？」と題し、印刷産業の未来を拓くDXについて、DX推進プロジェクトチームの福田浩志委員長が、印刷産業でのDXの必要性、DXによってもたらされる生産性・高収益性、DXに不可欠なシステムなど、わかりやすく解説した。

また、動画コンテンツとして、「幸せな働き方改革」、「調達が変われば、企業が変わる、社会が変わる」、「ニューノーマル時代の営業戦略」、「利益を上げるなら、社員を育てろ！」、「コロナ禍における支援策」、「皆様の声を国政に反映させます」が配信された。なお、スペシャルコンテンツ、動画コンテンツは10月9日以降、“いつでも、どこでも、だれでも”全印工連Webサイトにて聴講ができる。

以下、滝澤会長のトップメッセージを紹介する。

全国の組合員に最新情報発信

印刷産業の構造改革を宣言

滝澤光正
全日本印刷工業組合連合会会長

DX（デジタルトランスフォーメーション）システムで印刷産業全体の生産向上と付加価値の創出を図る

情報コミュニケーション産業への進化

全印工連では、組合員の皆様にお集まりいただいて、組合事業を直接お伝えする全印工連フォーラムを毎年開催しております。今年も当初の予定では、この10月に全日本印刷文化典長野大会を開催し、その2日目のプログラムとして、全印工連フォーラムを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑み、長野における文化展開催を止む無く1年延期といたしました。それに伴い今年の全印工連としての情報発信を検討した結果、この度組合員の皆様に全印工連事業を正しくご理解いただく機会として、「全印工連オンラインフォーラム2020」を企画いたしました。

私は、会長就任時の事業計画基本方針において、私たち印刷産業は産業全体として、これからの社会経済にあった構造改革が必要だと訴えさせていただきました。全印工連では一昨年からブランドスローガンとして「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」を掲げていますが、印刷産業がこれからもHappy Industryであり続けるためには、一社一社の組合員の皆さんとともに今後の社会の要請にこたえる産業の姿への構造改革が避けて通れないと考えたからです。構造改革の具体的な取り組みとしては、効率の良いプロダクションによる収益改善、ソリューションプロバイダーとしての価値の提供、人材の確保と育成、これら三つの要素からなる三位一体の改革が必要と思われます。印刷産業の構造改革実現のための事業を今後も全印工連では積極的に展開してまいります。

まず、効率の良いプロダクションによる収益改善にむけ、今年度新たに全印工連にデジタルトランスフォーメーション（DX）推進プロジェクトチームを設置いたしました。その委員長には福田浩志常務理事が担当します。このプロジェクトチームでは、全印工連として組合員の印刷会社同士がクラウド上で仕事の受発注を行なえるネットワークシステム、プラットフォームの構築を行ないます。詳細の説明は後ほどに譲りますが、私が昨年度まで委員長を務めていた全印工連産業戦略デザイン室では１年間の議論を経て、『令和版構造改善改革提言』という成長戦略提言書を取り纏めました。今年度新設のDXプロジェクトチームのもとでその具現化を図ります。この取り組みではIT技術を活用し、各社の収益の見える化の促進と組合員企業同士の生産の連携と効率化、産業全体としての生産性の向上を図ります。紙の印刷物の需要が今後も減少していく中で、これまでのように各社がそれぞれ単独で最新鋭の設備投資を続けていくことは現実的ではありませんし、難しくなっています。

先ごろ行なわれた国の印刷業における取引環境実態調査においても、多くの企業が法定対応年数を超過した設備を使い続けていることが明らかになっています。仮に設備の更新を

したとしても投下資本の回収すら覚束ない可能性に嫌気して、設備投資を控えていることが推測されます。そこで各社が引き続きお客様への価値提供を続けるためには、組合の仲間同士による協調によりお互いに補い合い生産設備を全体として最適化して生産性を向上させ効率の良いプロダクションを図る。各社はそれぞれ独自の経営戦略に基づいて差別化したお客さまへのサービス、付加価値の提供や、また、製造における得意分野への集中特化をしやすくするための仕組みを用意することにより、印刷産業はこれからも成長を続ける情報コミュニケーション産業へと進化できると考えます。

組合員企業同士のアライアンス

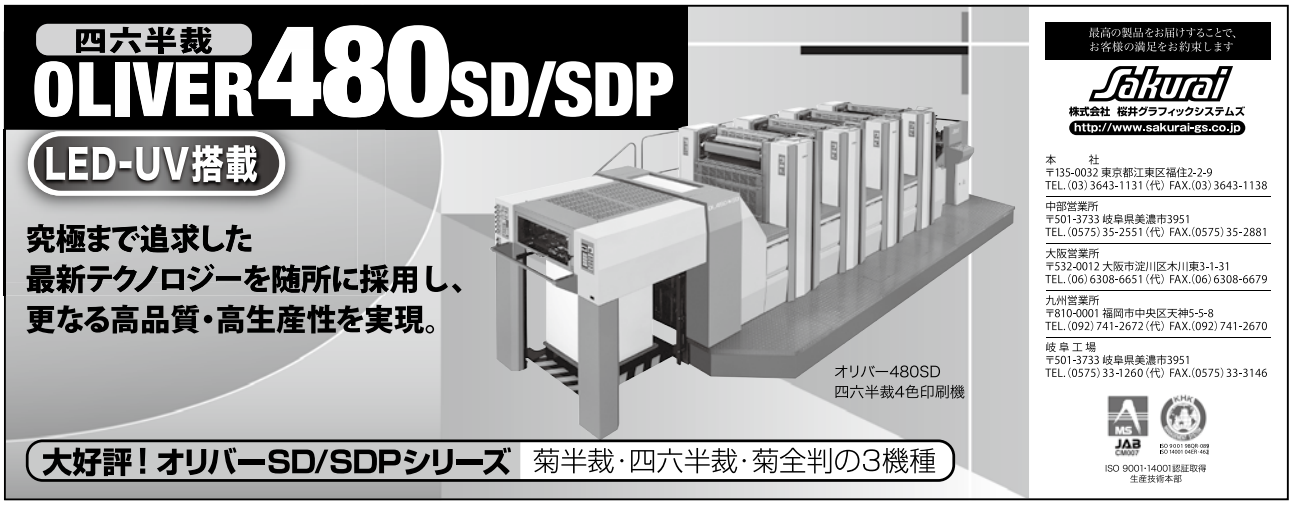
全印工連で共通のプラットフォームといっても、利用する際は予めアライアンスを組んだメンバーの間だけで取り引きを行なっていただきます。地域ごと、あるいは商材や相手ごとなど、そうしたグループを組合員の皆さんそれぞれでお作りいただき、各グループの中で共通プラットフォームを利用して、仕事の受発注を行なうものです。つまりそのプラットフォームをご利用いただいたからといって、いきなり全印工連組合員4,300社にその仕事がオープンになるという訳ではありません。もちろん、組合が構築するプラットフォームですから、その中では原価管理をしっかり行なっていただき、発注者側には従来の外注費よりメリットの出る価格で、受注する生産者側では受注量が増えることによるコストダウンが実現できる、双方ともに利益に寄与できる仕組みを構築すべく、準備をしています。現状でも私たち印刷会社はお互い仕事のやり取りをする上で、まだまだ手書きの伝票やファックス、電話による非効率な方法取られている場面が多く見受けられます。それらをIT、クラウドを利用したデジタルトランスフォーメーションを実装することで、手間を省き、効率化します。生産を助け合うことで資材のコストダウンや間接業務の極小化、業界全体として適正な生産力を維持することにより、過当競争による過度な価格の下落に歯止めをかけ、印刷産業全体としての健全な発展を目指すものです。

つまり、全印工連で構築するデジタルトランスフォーメーション（DX）のシステムは、受発注をただ効率化するだけの印刷通販とは異なり、そのグループに参加することにメリットがあると判断した組合員企業同士のビジネスアライアンスです。大小、規模様々な業態の印刷会社が参画し、それぞれの強みをシェアし合う場となることを目指しています。プロジェクトチームの皆さんには、現在、今年度中のシステム構築、来年度は複数モデル地区でのトライアルを行なっていただき、その後、必要なシステム改修を行なった上で、全国の組合員の皆さんにご利用いただける本稼働開始に向け、精力的に活動しています。

全印工連が目指すこのデジタルトランスフォーメーションによる生産の効率の考え方については、国が進めているデジタル化、デジタルトランスフォーメーション推進の方向性にも合致するものとして経済産業省からもご理解を得られ、この度、国からの補助金を支給していただくことができました。また、印刷市場の健全な発展を目指す効率化、生産性向上の仕組みについて、私共から印刷機械装置メーカー各社の皆様にもご説明に上がり、各社からもご理解、賛同を得られ、ご協力をいただきながら進めております。

滝澤光正
全日本印刷工業組合連合会会長

「令和版構造改善改革提言という成長戦略提言書を取り纏めました。今年度は新設のDXプロジェクトチームのもとでその具現化を図ります。この取り組みでは、IT技術を活用し各社の収益の見える化の促進と、組合員企業同士の生産の連携と効率化、産業全体としての生産性の向上を図ります」。



本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

幸せな働き方改革の実践

全印工連では、組合員の皆様に対し単なる印刷物製造業から脱却し、お客様の課題解決業としてのソリューションプロバイダーへ転換しましょう、との提言を行なってきました。今、このパラダイムチェンジともいえる社会の大変革期において、その必要性はますます大きくなり、喫緊の課題であると考えます。

人々の価値観が多様化し、社会が企業に求める姿勢も利益至上主義からESGやSDGsなど、社会課題と経済の両立であるとか、持続可能な社会の実現を求められるように成っております。それに対して、私達一社一社の印刷会社が貢献できる方策は、最早単一的なものではありません。それぞれの印刷会社がそれぞれの地域でそれぞれのお得意様をはじめとするステークフォルダーの皆様に対し、真剣にその課題に向き合い、各社の特長や得意分野を活かしながらともに解決を図っていくそうした企業行動が求められているのです。組合としては、そうした考えに基づき、各社の経営戦略を定める上で有用な情報を、各委員会の事業を通じ引き続き提供してまいります。特に、産業戦略デザイン室では、委員の皆さんともどもDXによる生産協調が進み生産性向上が実現した後を想定し、今後の社会変化や課題、あるいは機械について研究議論し、印刷会社の新たな価値創造領域を探求する次なる提言の取り纏めに向け、真剣な作業を進めています。

全印工連では、幸せな働き方改革プロジェクトを推進してきました。日本では既に人口減少が進んでいます。今後、ますます高齢化が進み若者の人口が減り、担い手の減少が見込まれます。人口が減る中で生産力を維持するためには、一人当たりの生産性を上げていく以外方法がありません。印刷業がこれからも魅力ある産業であり続けるためには、全ての人が安心、安全に働ける、多様な働き方に対応した職場づくりが不可欠です。幸せな働き方改革は、この春までに、シーズン1からシーズン5までのテキスト刊行を完了しました。その中では、私達中小印刷会社が自社で働き方改革を実践する方策、仕組みづくりについて、専門家の助言も得ながら詳しく述べています。また、全印工連ではこの幸せな働き方改革をしっかりご理解いただき、実践していただくため、それぞれのステップに応じたセミナーパッケージもご用意しています。この程、ステップ4、ステップ5のセミナーも開催準備が整いました。この幸せな働き方改革以外セミナーも含め、従来は各県の工業組合にセミナーを設営いただき、全印工連から講師を派遣する形をとってまいりましたが、今般の社会情勢の変化に対応するため、セミナーのリモート化やWeb、アーカイブ化も積極的に進めているところです。

連携を強固に明るい未来を切り開く

全印工連では、CSRや環境、個人情報保護の認証制度、従業員の皆さんのスキルアップに繋げる制度教育事業や国家資格である技能検定の推進、雇用確保支援事業、スケールメリットを活かした各種共済や共同購入事業など、各社の企業価値を高める事業メニューを幅広く行なっています。特に多くの組合員の皆さんにご利用、ご好評をいただいている全印工連特別ライセンスプログラム事業については、契約本数の順調な増加により、この12月から一部メイン商品の利用料金の引き下げが実現できました。詳しくは全印工連の専用ウェブサイトや今後の広報誌などでご案内いたします。

私達、印刷産業自らが進んで構造改革に取り組むことは、サプライチェーンでつながる周辺産業にもその効果をもたらし、そのことは合わせて大切な私たちのお客様への新たな価値の提供を可能にすると同時に地域経済の活性化をも実現していくものと確信いたします。

今後も組合員の皆様におかれましては、組合が発信する情報を的確にとらえ、是非、積極的に自社の企業経営にご活用ください。各社がソリューションプロバイダーとして、Happy Industryになることが、印刷産業全体として、社会に貢献できる産業としての地位向上に繋がるのです。苦しい経営環境の今だからこそ同じ業界の仲間として集い、志を共にし、お互いの連帯を強固にして、印刷産業の明るい未来を切り開いて参りたいと心から願っています。共に手を携え改革に果敢に挑戦してまいりましょう。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社　www.toyoink.co.jp
中部支社　〒460-0002　名古屋市中区丸の内1-15-20　ie丸の内ビルディング12F　Tel:052-218-7460

下請取引適正化推進月間ポスター

■下請け取引の普及と啓発

11月は「下請取引適正化推進月間」

キャンペーン標語

「叩くのは　価格ではなく　話し合いの扉」

公正取引委員会及び中小企業庁は、下請取引の適正化について、毎年11月を「下請取引適正化推進月間」とし、この期間に「下請代金支払遅延等防止法（下請法）」の普及・啓発に係る取り組みを集中的に行なっている。

◎今年度のキャンペーン標語

「叩くのは　価格ではなく　話し合いの扉」

下請取引の適正化に関する普及・啓発活動は、マスコミ媒体を通じた広報活動、各施設におけるポスターの掲示、さらには、各都道府県、下請企業振興協会、商工会議所、中小企業団体中央会、事業者団体などに、本推進月間の実施にあたっての協力を要請している。

また、新たな取り組みとして、場所・時間を選ばず、下請法の基礎知識を習得することができるよう「下請法基礎講座講習会e-ラーニング資料」、ガイドブック「知って守って下請法」、「知るほどなるほど下請法」、動画資料「やさしく解説・よくわかる下請法講座～下請取引で困らないために～」などを作成し参考に供している。

詳細は、公正取引員会ホームページで検索。

■緊急情報

PCB使用製品・廃棄物

印刷工場や倉庫に放置してありませんか?
処分期限が迫っています

■対象製品：安定器／変圧器／コンデンサー

「PCB使用製品及びPCB廃棄物の処分期限」の周知に関する案内をご存じですか？ このPCB（ポリ塩化ビフェニル）は、絶縁性や不燃性などの特性により、変圧器・コンデンサー・安定器などの電気器具をはじめ、各種工業分野で幅広く利用されてきた人工的に作られた油性の化学物質になります。しかし、人への健康や環境への有害性のあることが分かり、昭和47年以降は製造や新たな使用が禁止になりました。ところが、現在もPCBを含む製品が処理されず廃棄物として保管されていたりするケースがあり、その処分が呼び掛けられています。

■昭和52年3月以前に建てられた建物

PCBの確認の中で、特に注意が喚起されている点検対象に古い工場やビルがあります。これは昭和52年（1977年）3月までに建てられた事業用の建物を指し、工場、倉庫、ビル、マンション、アパート、事務所などが挙げられます。対象外の建物であっても過去に回収された安定器が物置や電気室、あるいは、天井裏などに残置されていた事例などがありますので注意していただきたいと思います。また、製造から40年以上が経過しますとPCB使用安定器は劣化して破裂し、PCBが漏洩する事故が発生しています。このような事故は、一度調査してPCB使用安定器が存在しないとされた建物でも起きていますので、徹底した調査が望まれます。

■処分期間は令和3年3月31日まで

高濃度PCB廃棄物は、全国5ブロックに分けられ、それぞれ処分期限が示されています。例えば、愛知、岐阜、三重、静岡の4県は、豊田事業エリアになっており、照明器具の安定器は令和3年3月31日、変圧器・コンデンサーなどは令和4年3月31日までとなっています。

仮に定められた期限までに処分をしないと罰則があり、ましてや、不法投棄、不法譲渡、無許可業者への処分委託などは厳禁ですので注意が必要です。

※来月号で具体的情報をお届けします。

240線から340線、FMスクリーンの
高画質高精細印刷を標準稼働中!!
価格は175線と同額
データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします
大日印刷株式会社
☎0564-62-8461㈹
FAX0564-62-8463
大日印刷　検索

創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。
デザイン～印刷まで
トータルサポート
お気軽にお問合せ下さい。
カラー印刷全般
株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL〈052〉482-3117（代表）
FAX〈052〉482-3118
info@ps-prospec.co.jp　http://www.ps-prospec.co.jp/

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

■愛印工組オンラインセミナー開催

「ウィズ、アフターコロナ時代の対策と今後の展望」

愛印工組は、9月28日午後4時より、オンラインセミナー「ウィズ、アフターコロナ時代の対策と今後の展望～ピンチをチャンスに変えて差をつけろ！～」を開催した。

開会にあたり鳥原久資理事長は、「新型コロナ感染症の影響で今までのような集合研修ができない。しかし、リモートを使ったセミナーは、普段研修に参加できない遠方の方も情報収集ができる良い機会である。今年度はコロナの収束の目鼻が立つまで、リモートを使ったセミナーを積極的に行ない、組合員にひとつでも多くの情報をお届けして、新たな未来への一つの材料にしていただきたいと思う。セミナーは100％すべてが自社にプラスになるものばかりではないが、一方でセミナーを通して、あの時のあの話が非常に大きなヒントになった、と思いもよらぬ切っ掛けになることも沢山ある。普段なかなか参加できない方も積極的に参加していただくことで、情報収集に役立てていただければと思う」と挨拶。

オンラインセミナーの開会で
挨拶をする鳥原理事長

「印刷ビジネスの将来を考える
～コロナ禍の影響で印刷は
どう変わる～」

花房　賢：日本印刷技術協会
（JAGAT）研究調査部部長

■花房講師は、印刷業界の現状について、JAGATが会員企業に対し毎月行なっている「定点アンケート」結果から、印刷業界の現状について紹介。それによると、売上高の前年比は、昨年の消費税の増税後、対前年割れが続き、年末、年始に持ち直しの気配があったが、2月、3月にはコロナの影響がでて、4月から本格的な落ち込み、そして5月には緊急事態宣言の影響を受け、対前年73.9%、受注件数では66.2％になった。6月以降持ち直してきているが、7月は対前年82.9％という数字である。

■今後の印刷需要について“コロナ禍での成長はあるのか”との疑問に対して、日本製紙連合会の野沢徹会長がインタビューに応え、「印刷用紙はV字もU字回復もないだろう。停滞が長引くL字型の需要の減退を覚悟している」と語っている。コロナが終われば元に戻るというよりは、少し長い間の需要減が続くという前提で考えていく必要がある。また、グローバルからローカルについては、「これまではグローバルリズムが進んでいたが、コロナで人の移動ができなくなり、ローカルに戻るのではないか」という。

■経済危機を乗り切る条件について花房講師は、「①手元の現預金の潤沢さ、②金融機関との従来からの信頼関係、③自己資本の厚み、④平時における稼ぐ力」（コロナショック・サバイバル＝富山和彦著より）を紹介。

■危機の時こそ重要な付加価値管理を挙げ、「儲かるとは付加価値が固定費を上回ることで、売り上げを10％増やすよりも付加価値比率を5％上げるほうが利益への貢献度は大きい」として、例えば、単価100円のジュースを1万本販売した例を紹介（図1）。売り上げが１割り減、販売本数が減少した場合、利益は6万円に（図2）。売り上げが1割減、1割値引きして販売した場合、利益はゼロに（図3）。「この例からわかることは、売り上げだけでは利益がいくらかわからない、安易な値下げは利益を食いつぶす」と強調。

■「危機に強い」見える化事例について、次のように紹介。

在宅工務では、①自宅からインターネットVPNで会社のサーバに接続し、MISを立ち上げて業務を行なっている、②業務内容は印刷機と製本後加工の予定組、用紙と外注の手配、③作業の進捗状況はMISに100％入力されているので現場に確認する必要はない、④外注や用紙の発注書はMISからPDFが作成されるので、それをメール添付で取引先に送って

図 1）儲かるとは付加価値が固定費を上回ること
100 円のジュースを 1 万本販売していたという例

図 2）売り上げが 1 割減、販売本数が減少した場合
利益は 6 万円へ

図 3）売り上げが 1 割減、1 割値引きして販売した場合
利益はゼロへ

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

いる。計画生産では、①スケジュールの選考管理をさらに徹底し、2週間先までの生産計画を立て、1週間前には原則変更不可としてスケジュールを確定、②その生産計画に必要な社員だけが出社（全社員の60％から70％）、③残りの社員は休業とし、雇用調整助成金を申請、④お客様には「希望される納期で納品するためには、このスケジュールで進行してください」との条件を事前に提示し、もしその進行が守れない場合は納期がいつになるかを事前に提示している。

●身近な催し物のお知らせ　　令和2年11月10日以降の事業

開催日時	事業・行事、場所、備考	
令和3年 1月13日(水)	事業名	令和3年新春　新年互礼会
	場　所	名古屋東急ホテル
	参加費	組合員：15,000円(新春講演会含) 一　般：20,000円(新春講演会含)

「新型コロナウイルスの危機をどう乗り越えるか?」

松岡祐司：㈱アサプリホールディングス
社長／愛知県印刷工業組合副理事長

■印刷業界の現状に触れた松岡講師は、「①デジタル化によるペーパーレス化、②ネット通販による価格破壊と受注減、③印刷用紙・インキ・運賃などの値上げによる原価率アップ、④人材不足による労働力の低下、⑤働き方改革による残業削減と年間5日間以上の有給取得、⑥販売促進や集客を生業とする商業印刷は新型コロナウイルス危機で売上激減」と6重苦の中にいると指摘する。

■アサプリグループの経営で大切にしていることとして松岡講師は、「①経営理念（働く目的）の共有（共感）、②「見える化」による経営管理（守り）経費最小、③マーケットの拡大（攻め）売上最大」とした3つの要諦を掲げている。

■コロナショックに対しての守りについては、「アサプリグループコロナウイルス非常事態宣言」を発令。その対策の一例として、「見える化による最小限の人員出社と残業禁止／無駄な経費の削減と見直し／多能工化と内製化、外注禁止／無駄な組織や設備の見直し、規定や条件の見直し／テレワークや勤務地の変更、配置転換、オフィスの見直し」などを挙げる。また、コロナショックに対しての攻めの姿勢として、「『コロナショックをチャンスと捉え、コロナのおかげで変革ができた』といえるように／訪問営業不可のためWebでのリモート校正／ Web発注システムの促進／お客様の業務改善と働き方改革／コロナ対策のお手伝い／販売促進部⇒業務改善役員へ訪問先を変更」などが進められている。

■コロナに負けない経営者として松岡講師がとった行動は、「経営者はまず心身ともに健康で免疫力を高める。毎日徒歩通勤1万歩、ストレッチ、筋トレ30分、糖質制限」などで、現在、体質改善中であり、さらに、「三重大学大学院地域イノベーション学研究科後期博士課程で勉強中」である。「心を高める、経営を伸ばす。経営者が心身共に健康でなければ前向きな経営ができず社員に申し訳ない。経営者が覚悟を決めれば、社員はついてきてくれる」。

■コロナ不況対策として掲げられたのが、「①不況への対策として最も大切なことは、普段から高収益の経営体質を作り上げておく、②改めて経営理念とフィロソフィを全社員と共有して、社員の良好な信頼関係を築く、③徹底的に経費を削減して、損益分岐点を下げて、筋肉質で、高収益の会社に変革、不況時こそ次へのチャンス、竹の節のように、④全社員も営業動向とトップセールス、⑤高い生産性を維持する、3割仕事減なら人員も3割減で、⑥新製品、新商品・新サービスの開発を行なう」などになる。

■松岡講師は最後に、「◎何のために働くのか。働く目的である経営理念を、今こそ全社員と共有するチャンス。◎経営者・経営幹部は常に明るく前向きに、夢と希望を抱いて素直な心で。◎全社一丸となり創意工夫を行ない、誰にも負けない努力をして頑張り、このコロナショックの難局を乗り越える、朝が来ない夜はない。◎目的は全社員の雇用と幸せを守るため」とまとめた。

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

■お知らせ

Adobe Creative Cloud

全印工連 特別ライセンスプログラム募集中！

～現契約･新規契約も2020年12月1日より コンプリートプランをさらに安く提供～

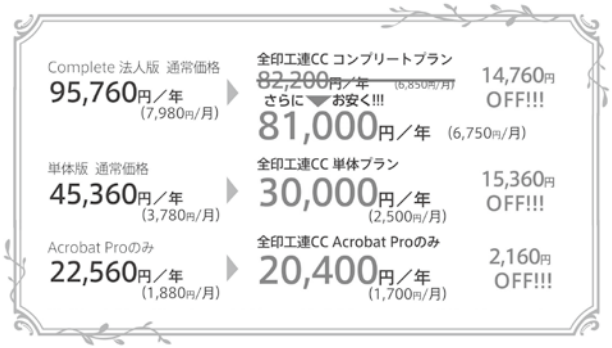
特別ライセンスプログラムの契約期間は、加入月より随時受付⇒2022年11月30日まで。支払いは１年ごと。ライセンスの追加はできるが、プランの変更、解除、脱退、返金はできない。申込みは、全印工連ホームページ「特別ライセンスプログラム」より（※見積りWebサイトパスワード:ajpia22）。

●コンプリートプラン：イラストレータ、フォトショップ、インデザイン、他20種以上のAdobe Creative Cloud全アプリケーション。

●単体プラン：Adobe Creative Cloudの中から必要なアプリケーションを１つずつ。

全印工連組合員向け特別価格は下表参照。

全印工連組合員企業向け特別価格（税別）



※利用料金の支払いは1年単位。年度途中における新規契約分については月割計算で請求。

※2020年12月１日の契約時点でコンプリートプランを50本以上申込みの場合は5%の割引、100本以上申込みの場合は8%割引になる（いずれも割引対象はコンプリントプランのみ）。

【メリット】

①常に最新＋サービス＝ITBのクラウドストレージ（コンプリートプラン・単体プラン共通、※Acrobat Proは適用外）／ Adobe Fonts ／共有アセットライブラリ。

②ローコスト＝コンプリートプランなら2年で29,520円、単体プランなら2年で30,720円の得！

③専用サポート窓口＝全印工連会員専用のTEL、Webによるテクニカルサポート窓口。

④無料セミナー＝テクニカルセミナーを年2回開催（１ライセンス１名）。

【参加条件】

①参加資格：全印工連加盟47都道府県印刷工業組合に所属する組合員企業。

②契約期間：加入月より2022年11月30日まで（契約途中でのプランの変更･解除･脱退･返金はできない）。

③参加条件：参加するためには、以下の諸条件についての同意が必要。契約期間中は全印工連がサブスクリプション（期限付き使用権）の管理を行なう／契約期間中に購入本数に対して利用本数が減った場合、あるいは利用しなくなった場合でも、その払い戻しはしない。但し、新規ライセンス数の追加（有料）は可能／契約内容については契約書を確認。

※Adobe Creative Cloud（CC）は、一定期間の使用権を購入する、サブスクリプション（期限付き使用権）形式の製品。利用にあたっては、申込み時にAdobe lD（メールアドレス）の登録が必要。

【詳細については】

全日本印刷工業組合連合会
〒104-0041　東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館4階
TEL:O3-3552-457I　FAX:O3-3552-7727
http://www.aj-pia.or.jp/

■お知らせ

講師養成オンライン講座

製造業における職長の能力向上教育

中災防のホームページから 無料で講座の視聴が可能

中央労働災害防止協会（中災防）では、製造業における職長の能力向上教育の講師を担当する人に向けて、教育カリキュラムの概要や教育に当たってのポイントなどについて、解説するオンライン講座（約6時間）を開設した。中災防のホームページ「製造業における職長の能力向上教育の特設サイト」から視聴ができる。（視聴無料）

https://www.jisha.or.jp/shokucho-kojo/index.html

≪講座内容≫　＝敬称略＝

（１）受講ガイダンス

製造業における職長の能力向上教育カリキュラム／中央労働災害防止協会教育ゼロ災推進部審議役下村直樹

（２）職長の能力向上教育として行なうべき教育内容

（A）基本項目（必須）‥‥①職長の役割と職務／製造議場における労働災害の動向、②「リスク」の基本的な考え方を踏まえた職長として行なうべき労働災害防止活動、③危険性又は有害性などの調査及びその結果に基づき講ずべき措置、④異常時などにおける措置、⑤部下に対する指導力の向上（リーダーシップなど）、⑥関係法令の改正の動向。

（B）専門項目（選択）‥‥①事業場における安全衛生活動、②労働安全衛生マネージメントシステムの仕組み、③部下に対する指導力の向上：コーチング、確認会話など／中央労働災害防止協会教育ゼロ災推進部審議役下村直樹。

（C）グループ演習‥‥①演習のテーマ及び進め方、②職長の職務を行なうに当たっての課題、③事業場におかる安全衛

日印産連‥‥知的財産権

Web サイトリニューアル

「知的財産の全体像」と「 知財アドバイス」を新たに配信

日本印刷産業連合会（日印産連）では、Webサイト「知的財産権」のリニューアルを行ない、知的財産権の基本的事項をとりまとめた「印刷業務に関わる知的財産の全体像」と、知的財産に関するトラブルのケースに合わせ、未然防止のための施策をQ&A形式で紹介する「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」を新たに配信する取り組みを始めた。

日印産連では、価値創出委員会の下部組織として知的財産部会を設置し、文化庁、特許庁、経済産業省、知的財産戦略本部等関連する省庁・団体の知財動向情報の集約と共有、知財に関わるパブリックコメントに対する意見表明を行なっている。また、2010年以来、印刷業務及びその周辺業務に携わる方々のための知的財産権に関する啓発を目的として、印刷業務で日常起こりうるトラブルを想定した課題研究を行なっている。その研究結果は、日印産連の機関誌「JFPI REPORT」（4回／年発行）に設けられた「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」コーナーにおいて、様々な事例をテーマにQ&A形式で取り上げ、詳しい解説とアドバイスとともに記事を連載している。

今回の「知的財産権」のページのリニューアルにおいては、印刷業務に携わる方に広く理解を促し、その理解を深めてもらうために「知的財産権」のトップページに、上記ガイドブックVOL.2に掲載されている知的財産権に関わる基本的事項を体系的に表した「印刷業務に関わる知的財産の全体像」をほぼ丸ごと掲載した。著作権のほか、特許権・実用新案権、意匠権、商標権、肖像権と、不正競争防止法に関わる基本的な知識が簡潔にまとめられている。

また、ガイドブック（VOL.1）とVol.2、及び直近の「JFPI REPORT」に掲載した「こんなときどうする？！知的財産アドバイス」計38事例のQ＆A部分をテーマ毎に一覧化するとともに、その一覧から各事例を閲覧できるページを用意し、Q＆Aをイラストによってわかりやすく掲載した。ほかにも、最新の「JFPI REPORT」に掲載されている「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」の記事をPDF形式で閲覧できる仕組みも用意している。

これにより、印刷業務及びその周辺業務に携わる方々の知的財産権に対する意識の向上と、知的財産権に関わるトラブルの未然防止や問題解決の一助となることを期待している。

●日本印刷産業連合会Webサイト
「知的財産権」
https://www.jfpi.or.jp/topics_detail6/id=79
「こんなときどうする？！知的財産アドバイス」
https://www.jfpi.or.jp/topics_detail6/id=80
「これまでJFPI REPORTに掲載したQ＆A事例」
https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=4749
「印刷会社のための裁判例」⇒今回の対象外
https://www.jfpi.or.jf/topics　detail6/id=81

生活動（危険予知訓練など）、④危険性または有害性などの調査及びその結果に基づき講ずる措置／公益社団法人東京労働基準協会連合会青梅労働基準協会支部事務局長早川光夫、⑤部下に対する指導力の向上：リーダーシップ、確認会話など／㈱経営技術研究所代表取締役＜中小企業診断士＞藤井春雄、中央労働災害防止協会健康快適推進部審議役三觜明。

（3）職長の役割と安全衛生教育についての企業事例

花王㈱‥‥経営サポート部門RC推進部マネジャー（安全・防災担当）上塩入伸之、㈱東芝‥‥人事・総務部総務企画室安全保険グループエキスパート羽深勝也、日吉電装㈱代表取締役社長仁上洋一郎。

≪専門項目≫

専門項目の講師要件を満たす研修。

製造業における職長の能力向上教育の講師として教育を行なうためには、当オンライン講座を受講するだけではなく、所要の講師要件を満たす研修が必要になる。研修の具体例については、中災防ホームページ参照。

【問い合わせ先】

中央労働災害防止協会教育ゼロ災推進部教育・調査課
TEL03(3452)6499　https://www.jisha.or.jp

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料
株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市東区橦木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611　FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

■11月は「過労死等防止啓発月間」

STOP!過労死

労働時間の適正な把握と健康管理体制の整備

STOP！過労死　パンフレット

今月は「過労死等防止啓発月間」です。この運動は、平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法」において、毎年11月は「過労死等防止啓発月間」と定められ実施されています。厚生労働省ではこの月間に併せ、過労死などの一つの要因である長時間労働の削減とともに、過重労働解消に向けた集中的な周知・啓発の取り組みを行なう「過重労働解消キャンペーン」や各都道府県において「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催するほか、長時間労働の削減や賃金不払い残業などの解消に向けた重点的な監督指導、一般からの労働問題に関する相談を無料で受け付ける電話相談も実施します。

◎実施期間は、令和2年11月1日(日)～ 11月30日(月)までの1か月間。

■過重労働による健康障害などの防止

過労死等防止対策推進法では、国民の間に広く過労死等を防止することの重要性について自覚を促し、これに対する関心と理解を深めてもらうため、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定めています。国民一人ひとりが、過労死とその防止に対する理解を深め「過労死ゼロ」の社会の実現を目指す運動になります。

※過労死：業務における過重な負荷による脳血管疾患もしくは心臓疾患を原因とする死亡。また、業務における強い心理的負荷による精神障害を原因とする自殺による死亡もしくはこれらの脳血管疾患、心臓疾患、精神障害のこと。

過重労働による健康障害などを防止するためには、労働時間の適正な把握が必要です。

労働時間の現状は、週の労働時間が60時間以上の労働者の割合は近年低下傾向ですが1割弱で推移しており、いまだ長時間労働の実態がみられます。また、脳・心臓疾患に係る労災支給決定件数についても依然として高い水準で推移するなど、過重労働による健康障害も多い状況にあるほか、割増賃金の不払いに係る労働基本法違反も後を絶ちません。

過重労働による健康障害の関連性については、長時間にわたる過重な労働が疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因であるといわれ、具体的には、時間外・休日労働が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まるとされています。過重労働による健康障害などを防止するためにも、労働時間を適正に把握し、次の装置を講じることを推奨しています。

(1)時間外・休日労働時間などの削減

労働基準法が改正され、法律上、時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別な事情がなければこれを超えることができません。 臨時的な特別の事情があって労使が合意する場合 (特別条項)でも、法律に定める上限を守らなければなりません。

時間外労働は本来臨時的な場合に行なわれることなどを踏まえ、36協定 (時間外労働・休日労働に関する協定)の締結に当たっては、労働者の代表 (労働者の過半数で組織する労働組合または労働者の過半数を代表する者)とともに、その内容が指針に適合したものとなるようにします。

(2)年次有給休暇の取得促進

労働基準法が改正され、年5日の年次有給休暇を確実に取得させることが必要となっていますが、これは最低基準で、労働者に付与された年休は本来すべて取得されるべきものです。年休の取得しやすい職場環境づくり、年休の計画的付与制度の活用で、年休の取得促進を図らなければなりません。

(3)労働者の健康管理に係る措置

労働者の健康管理に係る措置の徹底は、①健康管理体制を整備するとともに健康診断の実施、②長期間にわたる時間外・休日労働を行なった労働者に対する面接指導などの実施、③労働安全衛生法が改正され、面接指導の対象が、「時間外・休日労働時間が1か月あたり80時間を超え、かつ、疲労の蓄積が認められる者」に拡大されています。

「過労死等防止啓発月間」期間中の取り組み

常時、相談や情報提供を受け付けています。

①過労死等は、最寄りの都道府県労働局又は労働基準監督署(開庁時間／平日8:30 ～ 17:15)

②労働条件相談ホットライン　平日の夜間及び土日に、労働条件に関して無料で相談を受け付けています。

[フリーダイヤル]0120－811－610

[相談受付け時間]月～金17:00 ～ 22:00、土日・祝日9:00 ～ 21:00

③労働基準関係情報メール窓口　労働問題がある事業場に関する情報をメールで受け付けています。

専用ホームページ[労働基準メール窓口]で検索。

④オンラインによる「過重労働解消のためのセミナー」

事業主や人事労務担当者などを対象に、10月から12月まで無料セミナーが開講されています。専用ホームページ「過重労働解消のためのセミナー」で検索。

■過労死等防止対策推進シンポジウム

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現に向け、過労死等とその防止について考えるシンポジウムが、過労死等防止啓発月間を中心とした期間に開催される。シンポジウムは、全国47都道府県において計48回開催され、無料で誰でも参加できる。

【愛知会場】

●日時:11月17日(火)14:00 ～ 16:00

●会場:名古屋国際センター別棟ホール (愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1)

●内容:①愛知労働局からの報告、②講演「ハラスメント対策について」岩井羊一氏 (岩井羊一法律事務所)、③講演「パワハラ・過労死を生みださない働き方とは」寺西笑子氏 (全国過労死を考える家族の会代表)。

※参加無料。コロナウイルス感染症予防対策で事前申し込みが必要になっているので、詳しくは、「過労死等防止対策推進シンポジウム」で検索。

(4)賃金不払い残業の解消

過重労働による健康障害の防止とともに、賃金不払い残業を解消することで、職場環境の改善を図り健康障害の防止に繋げたいとしています。ここでは、「①職場風土の改革、②適正に労働時間の管理を行なうためのシステムの整備、③労働時間を適正に把握するための責任体制を明確化しチェック体制を整備する」などを挙げています。

■STOP!過労死 過労死防止のための取り組み

過労死等防止啓発月間では“過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ”をスローガンに、「STOP!過労死」を掲げ、特に、「過労死ゼロ」の社会の実現を目指し、次の取り組みを呼び掛けています。

①長時間労働の削減

②過重労働による健康障害の防止

③働き方の見直し

④職場におけるメンタルヘルス対策の推進

⑤職場のハラスメントの予防・解決

⑥相談体制の整備など

事業主は労働者の健康づくりを積極的に支援し、労働者は自らの健康管理に努めなければなりません。メンタルヘルス対策では、事業主は積極的に推進し、労働者はストレスチェックにより自身のストレスに気づきセルフケアーに努めます。パワーハラスメントでは、職場のルールづくりや悩みを共有するなど、予防・解決を図るよう心がけます。

厚労省では、これらへの対応のために理解と啓蒙を深めてもらおうと、働き方改革、効率化、人手不足、職場環境、支援策など、幅広く情報提供を行ない、また、課題解決のための相談窓口を設けています。専用ホームページ「厚労省 過労死防止」で検索できますので活用ください。

令和3年新春 印刷と関連業界　新年互礼会開催のご案内

愛知県印刷工業組合主催、愛知県刷産業団体連絡会協賛による令和3年度「新年互礼会」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各社1名様の参加とさせていただき開催する予定です。

【開催日時】令和3年1月13日(水)
新年互例会17時20分～

【会　　場】名古屋東急ホテル(3階)
名古屋市中区栄4-6-8　TEL052(251)2411
新年互例会「ヴェルサイユの間」

【参加会費】

□1名20,000円。

□愛知県印刷工業組合組合員の参加会費は、1名15,000円。

【お問い合わせ】

愛知県印刷工業組合事務局　TEL052(962)5771

『印刷業向け業務パッケージの決定版　P-MAN』

印刷情報管理システム

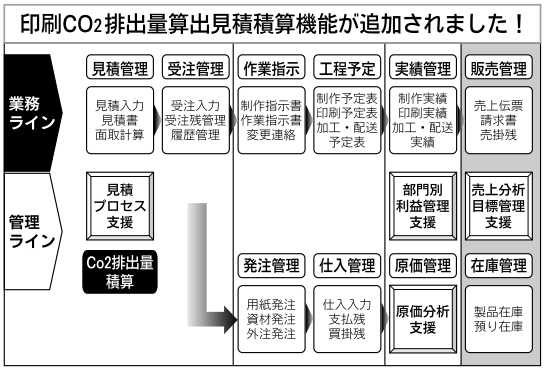
P-MAN Business e-Brain

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工／配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』　『今こそ！！情報の見える化（MIS)』

印刷CO_2排出量算出見積積算機能が追加されました！



株式会社モトヤ　〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 TEL.06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 TEL.03-3523-8711

本文は読みやすい書体「UD新丸ゴ」を使用。

愛知県中小企業団体中央会で表彰

「愛知県知事表彰」松岡・岩瀬・田中の３氏
「組合功労者表彰」木村・松本・荒川の３氏

愛知県中小企業団体中央会（長谷川正巳会長）では、10月19日に開催の「第69回中小企業団体愛知県大会」の席上、愛印工組から愛知県知事表彰に３氏、組合功労者表彰に３氏が決まり、その顕著な功績が顕彰された。

松岡祐司副理事長

岩瀬清副理事長

田中賢二副理事長

【愛知県知事表彰】

◎松岡祐司（副理事長）

【功績】平成22年５月に理事に就任、平成26年５月に副理事長に就任し、常に組合の要職にあって、組合活動に積極的に取り組んできた。特に、理事就任と同時に教育委員長として技能検定試験の実施や同検定学科試験の合格率向上のための試験対策学習会を開催するとともに、社員のスキルアップを図る各種セミナーを実施、更に、教育委員会担当副理事長として、同委員会事業の陣頭指揮を執り、組合の発展に寄与した功績は顕著である。

また、人格、識見とも卓越し、その行動力、指導力は組合のみならず業界で高く評価されている。

◎岩瀬清（副理事長）

【功績】平成22年５月に理事に、平成28年５月に副理事長に就任以来、常に組合の要職にあって、組合運営・活動に積極的に取り組んできた。平成24年５月からは東三河支部長として、支部の運営・取りまとめに尽力し、支部活動の活性化に努め、同時に組織・共催委員長として、官公需対策や共済事業に尽力した。さらに、組織・共済委員会担当副理事長として、同委員会事業の陣頭指揮を執り組合の財政運営に多大な貢献を果たしてきた。

また、人格、識見とも卓越し、その行動力、指導力は組合のみならず業界で高く評価されている。

◎田中賢二（副理事長）

【功績】平成20年５月理事に就任以来、常に組合の要職にあって組合活動に積極的に取り組むとともに、東南支部長として支部の運営、取りまとめに尽力した。特に経営革新委員長として企業経営に有益な各種セミナーや先進的な取り組みを実践する企業見学会を企画開催し、更に、経営革新委員会担当副理事長として、同委員会事業の陣頭指揮を執っている。

また、温厚な人柄で、人格、識見とも卓越し、他の模範となるものであり、その手腕は組合員はもとより業界からも高く評価されている。

木村吉伸副理事長

松本高武理事

荒川壮一理事

【組合功労者表彰】

◎木村吉伸（副理事長）

【功績】平成28年５月から副理事長に就任し、労働安全衛生法に基づく、教育・指導・啓発や新入社員の人材育成に陣頭指揮を執ってきた。

◎松本高武（理事）

【功績】平成30年５月から組織・共済委員長を務め、官公需対策事業とともに、共済の加入促進を図り、組合員の福利厚生と組合の財政運営に貢献した。

◎荒川壮一（理事）

【功績】平成26年５月に理事再任とともにブランディング委員長に就任。印刷業界のブランディング活動を積極的に展開し、社会に広く印刷産業の魅力を浸透させた。

編集だより

■新型コロナウイルスへの警戒と合わせてインフルエンザにも注意して下さい。

あいちの印刷

No.588
令和2年11月10日発行

発行人　鳥原久資
編集　組織・共済委員会
発行所　愛知県印刷工業組合
〒461-0001　名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL〈052〉962-5771
FAX〈052〉951-0569
◆ホームページアドレス　http://www.ai-in-ko.or.jp/
◆E-mailアドレス　jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン Graphic design
ウェブデザイン Web design
セールスプロモーションデザイン Sales promotion design
エディトリアルデザイン Editorial design
アドバタイジングデザイン Advertising design
オンデマンドプリンティング On-demand printing

adWiSE 株式会社 アドワイズ
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-15-15 ダイアパレス丸の内201
TEL 052·212·5182 FAX 052·212·5183 E-mail:ad-wise@ad-wise.biz http://www.ad-wise.biz/

heart 人から人へ心を伝える ハート紙製品

グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社
URL : www.heart-group.co.jp

多言語に対応した
デジタルブックを簡単に作成
手軽に配信・快適に閲覧

JPSA モリサワ
モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール
MC Catalog+
エムシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、
スマートフォンやタブレット端末に
手軽に配信するサービスです。

詳しくは エムシーカタログ
www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。

紙・包材・LEDの 株式会社 アクアス
本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page http://www.axuas.jp E-mail info@axuas.jp

キングは印刷会社のパートナー

詳しくは キング封筒 検索

Printing Supply
封筒用紙・名刺用紙・ハガキ・包装用商材

Printing Promotion
カレンダー印刷・名入販促物
（クリアホルダー、ふせん等）

Printing Support
業務支援アプリ・営業支援アプリ

Printing System
名刺作成システム
（ソフト、プリンター、裁断機）

KING CORPORATION 株式会社キングコーポレーション

本社／〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661（代）

全国15拠点をサポート

本社／名古屋本店／東京支店／大阪支店／福岡支店／仙台支店／横浜支店／静岡支店／金沢支店／神戸支店／広島支店／鹿児島支店／札幌営業所／青森営業所／浜松営業所

超戦

KOBUNDO

Pro-vision

PRODUCTS

KBD きらり

NEW

UV スポットニスとの融合で高品質で立体的な付加価値ある印刷物を!

KBDきらりは、小ロットでもロングランにも適したデジタルコーティングシステム。箔押しも標準装備しており、スポットニスとの融合で高品質で立体的な仕上がりを実現!
コロナ処理を標準装備しており、 様々なデジタル印刷物にも対応。
デジタルコーティングなので版が必要なく、様々な印刷データを短時間でセットでき、納期短縮も可能としました。

KBD マルチ・テーピング・システム

NEW

両面テープ貼りに特化した製品で、セット時間が短く省スペースでの設置も可能!

●最大4ヘッドまで搭載可能センサーを通して、正確な位置にテープを貼ります。

セミオートフィーダーを搭載しており、最大76m/分の速度で生産可能!

558mm幅に最大4セットまでのテープヘッドが搭載可能!

デジタル制御高精度シートカッター

KBD Value Sheeter 1400

KBDバリューシーター1400は、最新の先端技術を採用し、高速で安定した断裁を可能にするシートカッターです。

フィニッシングソリューション

KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

KBD MOLLシステムは、製袋機、グルーシステム、紙折機の機能を統合して、パッケージ等の型紙を自動で製造するユニットシステムです。

印刷機材の総合商社 株式会社 光文堂

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社／東京 支店／東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所／北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄